

天然記念物へ GO！第3弾！

地球のでっかさを感じよう！



千葉県内には、国指定天然記念物が16件、県指定天然記念物が52件あります。

(平成20年7月現在)

	動物	植物	地質・地形	計
国指定	6	8	2	16
県指定	2	39	11	52
計	8	47	13	68

いずれも国あるいは千葉県の歴史と文化を語る上で重要であるとして指定されました。

今回はこれらの中から、地質・地形分野の天然記念物についてご紹介します。



所有者、地元の方の迷惑にならないよう、静かに見学してください。
化石等を採取することはできません！



国指定天然記念物「木下貝層」



所在地：印西市木下

指 定：平成14年3月29日

千葉県北部に広がる下総台地は、約45万年前から約8万年前に堆積した下総層群が基盤となっています。下総層群の中でも木下層は、約12万年前に古東京湾と呼ばれる広大な内湾に堆積した砂層で、当時生息していた貝類などの化石が観察できます。

指定地の露頭は、厚さ4.3m、長さ45mにわたって貝化石、ウニ化石を多産する化石層が露出しています。貝類の化石は100種類以上が確認されていますが、砂の粒径や貝の産出状態から大きくイタボガキ・ウメウラシマ帯、カシパンウニ帯、バカガイ帯、キタノフキアゲアサリ帯に区分することが可能です。基本的には暖流系の浅海性の貝類が多種見られます。

木下貝層は露頭の表面が堅く固まっていることも特徴で、栄町岩屋古墳(国指定史跡)の横穴式石室は貝化石層を切り出して構築したものであり、古くから石材としても利用されていました。

指定地は「木下万葉公園」として整備されており、丘の上にある展望台から美しい夕陽を眺めることができます。



電車で：JR 成田線木下駅から徒歩 15 分

車で：国道 356 号を木下駅入口交差点の東側を県立印旛高校方向へ入る



県指定天然記念物「上岩橋貝層」



所在地：酒々井町酒々井

指 定：昭和50年3月28日



現在の千葉県の北半分の地域は、約40万年前から8万年前まで、古東京湾と呼ばれる内湾の海でした。この海は、現在の東京湾のように浦賀水道に開くのではなく、鹿島灘の方へ開いていました。関東ローム層の下には、この時にできた下総層群と呼ばれる砂の層が厚く堆積し、貝化石が見られる場所があります。

上岩橋貝層は、下総層群上岩橋層に含まれる化石層です。この貝層は下総台地の構成層として広く分布している浅海成～淡水成の地層で、酒々井町上岩橋を模式地とし、上位の木下層とともに古くから研究対象となった地質学上著名な地層です。

上岩橋貝層では、120種以上の貝化石が確認されていて、寒流系の貝類を主体としています。

隣接する国指定史跡「本佐倉城跡」の指定地内にも、貝層が見られるポイントがいくつかありますので、散策しながら探してみてください。

また、酒々井町では携帯電話を活用した文化財案内に取り組んでいます。神社仏閣や観光名所に設置された標柱に示されているQRコードを読み取ってアクセスすると、詳しい解説を見ることができます。こちらもご活用ください。



電車で：京成電鉄大佐倉駅から徒歩15分

車で：国道51号で上本佐倉交差点から県道137号へ入り、酒々井小学校手前を左折



国指定天然記念物「犬吠埼の白亜紀浅海堆積物」



所在地：銚子市犬吠埼

指 定：平成14年3月19日

犬吠埼は千葉県の東端、太平洋に突き出た岬です。その先端に犬吠埼灯台があり、千葉県沿岸を航行する船の道しるべとなっています。

房総半島の地表面の大部分は、約6,500万年前より新しい第三紀という新しくて柔らかい地層でできていますが、銚子には古く堅い地層が露出しています。犬吠埼灯台下の海岸には白亜紀に海底で堆積した地層が顔を出しています。白亜紀というと恐竜が生きていた時代ですが、そのような古い地層を地表で見ることができる場所は、関東地方ではここだけです。

この地層には、海底の砂の表面につけられたさざ波の痕跡（漣痕）を観察できます。また、化石も豊富で、アンモナイトの化石も発見されています。「犬吠埼産出のアンモナイト」として県指定天然記念物に指定されている資料もあります。

県指定天然記念物
「犬吠埼産出のアンモナイト」



現在、危険防止のため岬の先端には近づけなくなっていますのでご注意ください。



電車で：銚子電鉄犬吠埼駅から徒歩10分

車で：東関東自動車道佐原香取インターから国道356号を銚子方面へ



県指定天然記念物「千騎ヶ岩」



所在地：銚子市犬若

指 定：昭和50年3月28日

千騎ヶ岩は、外川漁港区域内の海中にあり、標高約14m、周囲約400mの岩礁で、初代歌川広重の浮世絵「六十余州名所図絵」にある「銚子の浜外浦」(嘉永6年)や赤松宗旦著「利根川図志」(安政2年)にも紹介されている銚子磯めぐりの名勝です。

銚子には「義経伝説」が各地に残されており、「千騎ヶ岩」は義経が千騎の兵をもって立てこもったことからこれらの名が付けられたという伝説があります。

この岩は、千葉県最古の岩石といわれる、中生代ジュラ紀の愛宕山層群の硬質砂岩からなっています。愛宕山層群は、銚子市愛宕山に代表される地層で、塊状砂岩、砂岩泥岩互層、礫岩、チャート、礫質泥岩などで構成されており、プレート物質が海溝付近で陸側に取り込まれたものです。

毎年11月頃になるとウミウが飛来し、多い年は500羽を超します。ウミウのほかムクドリ of 繁殖地としても知られ、また、県内では珍しいハクセキレイやイソヒヨドリの繁殖も確認されています。

銚子めぐりのしめくくりは、地球の丸く見える丘(有料)へどうぞ。地球のでっかさが実感できます。



電車で：銚子電鉄外川駅から徒歩10分

車で：東関東自動車道佐原香取インターから国道356号を銚子方面へ

地球の丸く見える丘展望館 大人300円 小人150円



県指定天然記念物「鴨川の枕状溶岩」



所在地：鴨川市太海百目木
指 定：平成5年2月26日

千葉県に火山はありませんが、鴨川の海岸近くで溶岩を見ることができます。この溶岩は、太平洋の海底火山から噴出したもので、太平洋プレートに乗って房総半島まで移動してきたものです。

枕状溶岩は、サラサラして水のように流れる玄武岩質の溶岩が、深海の高い水圧によってチューブからしぼり出される歯磨きのように、固まりとなって出てきたものです。枕を積み重ねたような形をしていることから「枕状溶岩」と呼ばれます。水中で急激に冷やされて固まったため、表面はヒビ割れが目立ち、放射状のヒビが観察できます。

丸い固まりのような岩を見つけたら、海底でぶくぶくとわき出る溶岩と、ゆっくりゆっくり海底を移動してゆく姿を想像してみましょう。県立鴨川青年の家の敷地内で観察できます。



電車で：JR 外房線鴨川駅からバスで「曾呂入口」下車

車で：鴨川市街から県道 247 号を太海方向へ

県立鴨川青年の家 毎週月曜日休所

見学可能な時間帯などは青年の家にお問合せください (tel : 04-7093-1666)



県指定天然記念物「白浜の鍾乳洞」・

「白浜のシロウリガイ化石露頭」・「白浜の屏風岩」



「白浜の鍾乳洞」

所在地：南房総市白浜町白浜

指 定：昭和29年3月31日

奥行き5m、高さ1.6mほどの小さな洞穴ですが、この中に小規模な鍾乳石、石筍、石柱を観察することができます。

鍾乳洞は崩れやすいので、危険防止のため中に入ることはできません。

「白浜のシロウリガイ化石露頭」

所在地：南房総市白浜町白浜

指 定：平成8年3月22日

シロウリガイは、水深1,000m前後の深海に生息する二枚貝で、プレート境界付近のメタンが吹き出すところにコロニーを形成します。白浜のシロウリガイ化石は、300～350万年前の千倉層群白間津層と呼ばれる地層で観察できます。



「白浜の屏風岩」

所在地：南房総市白浜町根本

指 定：昭和30年12月15日

約2,500～500万年前の新生代中新世の地層が、プレートの動きによって押し曲げられ「褶曲構造」となったものです。

まさに屏風のように直立する姿を見ることができます。



電車で：JR内房線館山駅あるいは千倉駅から白浜ゆきバス
車で：国道410号沿い



県指定天然記念物「沼サンゴ層」



所在地：館山市沼

指 定：昭和42年3月7日

館山市沼地域では、今から約6,000年前のサンゴの化石を広く見ることができます。この化石は縄文時代前半の今より気候が温暖だった頃に、海中に生育していた造礁サンゴの化石です。当時は気候が温暖だったこともあり、海水位も今より約3m高かったといわれています。さらに、その後の大地震による房総半島南部の地盤の隆起も加わって、現在は陸地となっています。

指定地は、館山湾の海岸から約1km内陸で、標高は約20mです。現在の研究では100種類以上のサンゴが確認されており、当時の古気候や古地理、造礁サンゴの古生態の研究に欠かせない化石となっています。

海の中にあるはずのサンゴがなぜ山の上にあるのか、理由がわかりましたか？



電車で：JR内房線館山駅から館山航空隊ゆきバスで「西の浜海岸通」下車、徒歩17分

車で：館山市街から県道257号を洲崎方面へ、西の浜海岸通バス停で左折

問合せ先：千葉県教育庁教育振興部文化財課

043 - 223 - 4085